

コラムニスト

天野祐吉さんのあしやべい

「とぼ」は雇っているのか

“人間”大好きの天野祐吉さんは、

鋭い切り口で時代を切り取りつつ

たくまざるユーモアと

やさしいことばで大切なことを深く表現し、
発信されています。

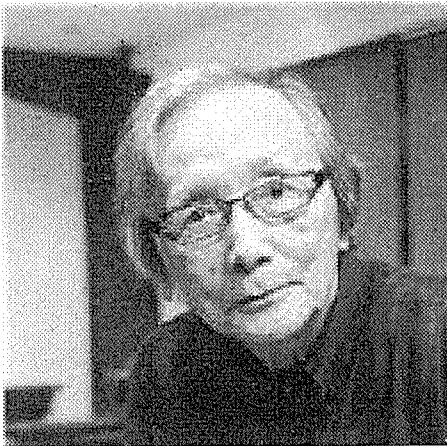
天野祐吉さんに学び、

今、この困難な時代だからこそ

勇気と希望を紡ぐことばを互いに届け合い、

たくさんの人々につながることばで

ともに未来を語り合いたいと思います。



あまのゆうきち

天野祐吉さんプロフィール

1933年東京生まれ

広告会社勤務を経てプロダクション「マドラ」を設立

『広告批評』を創刊、広告を文化として高めるかたわら、多くの優れたコピーライターを育てる。

朝日新聞に毎週一回連載の「CM天気図」はこの春1000回を数え、ファンも数多い。

(裏面に紹介)

松山市立子規記念館館長をへて現在は名誉館長。

著書多数、絵本も数多く出版している。

NHK ラジオ深夜便やテレビ出演に加え、自身のブログやのツイッターでも市井の人々に向けてユニークな発信を続けている。

10月1日(土曜日) PM1:30~

フォレスト仙台2F会議室

青葉区柏木 1-2-45 地下鉄北四番丁駅 北2出口7分

参加費700円 高校生以下無料

主催「テロにも戦争にもNOを！」の会

連絡先 090-7936-3437須藤 022-248-2866春日

「原発のない暮らし」

わかんないなあ。

「風力を利用すれば原発 40 基分の発電可能」っていうじゃないの。
うそじゃない、環境省がちゃんと試算した上での発表だ。

だったら、なぜもっと早くそうして、原発を減らさなかったのか。

いま日本にある原発は 54 基だそうだから、その 7 割くらいは減らせたじゃないか。

わかんないなあ。

とにかく、原発はやめようよ。一気に無理でも 5 年か 10 年の間には全廃だ。
こんど国政選挙をするときには、それを最大の争点にしなくっちゃ。
で、その結果、電力がこれまで 7 割くらいしか作れないというのなら、いいじゃないか、
それで暮らせる身の丈サイズの経済や生活の仕組みにすれば。

別に耐乏生活をしようっていうんじゃない。もっと知恵のある生活をしようってことだ。
知恵さえ集めれば、いまの 7 割の電力で、いまより 7 倍明るい生活だってできる(かな)。

(以下略)

